

防災灯自己点検用リモコン送信機

形名 **IRTZB01**

取扱説明書

○必ずリモコン自己点検機能付の適合機種でご使用ください。適合していない器具では、動作しません。

安全のために必ずお守りください

図記号の意味は次のとおりです。

	絶対に行わないでください。		必ず指示に従って行ってください。
--	---------------	---	------------------

乾電池の取扱い

〔乾電池取扱い上の注意事項〕

乾電池の使用方法を誤ると、乾電池の液漏れ、発熱、破裂等を引き起こし、機器を損傷したり、場合によっては失明、化学やけど、けが等のおそれがあります。乾電池取扱い上の注意事項を守って安全にご使用ください。

⚠ 危険

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高いもの

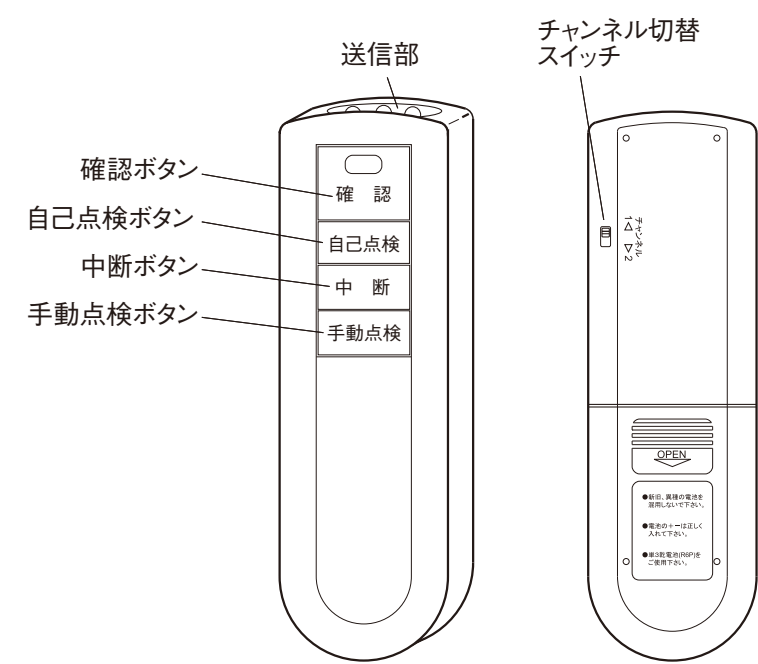
 禁止	■電池を分解しない けが、液漏れ、皮膚のただれ、化学やけど、失明の原因	 禁止	■電池内部から漏れた液には触れない (目に入ったときは、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください) 皮膚のただれ、化学やけど、失明の原因
---	--	--	--

⚠ 警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

 禁止	■電池をショート・加熱したりしない 液漏れ、破損、発熱によりけが、故障の原因	 禁止	■電池を充電したり、改造しない 液漏れ、破損、発熱によりけが、故障、破裂の原因
 禁止	■電池の(+)、(-)を逆に入れて使わない 液漏れ、破裂の原因	 禁止	■使い切った電池はすぐに機器から取り出す 液漏れ、破損の原因
 禁止	■電池を加圧したり、強い衝撃を与えない 液漏れ、故障の原因	 禁止	■違う種類の電池や、新・旧電池を混ぜて使用しない 液漏れ、破裂の原因

各部のなまえ



●電池の入れかた

電池収納ふたの▼印の位置を押しながら矢印方向にはずす。
乾電池の⊕、⊖を確かめて入れる。
電池収納ふたをしめる。



お願い

長期間使わないときは電池を抜いて
ください。故障の原因となります。

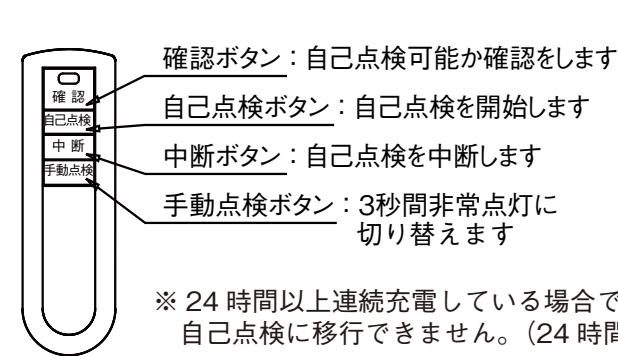
チャンネルの設定

リモコンのチャンネル切替スイッチは1CHに設定して
使用してください。
使用しない場合は2CHに設定してください。

○個別に操作する場合

器具	リモコン側
誘導灯ON	1CH
誘導灯OFF	2CH

各ボタンの機能



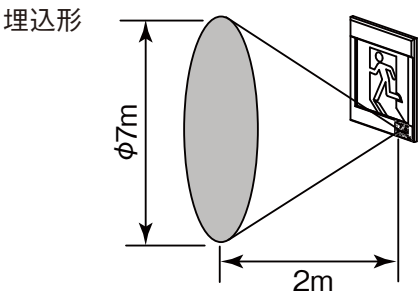
リモコンの確認ボタンを押したときの器具モニタ表示

モニタ表示	点検モニタ (橙)	ランプモニタ (赤)	充電モニタ (緑)
点検可能な場合 (連続充電時間：24時間以上)	点滅	点滅	点滅
点検不可の場合 (連続充電時間：24時間未満)	点滅	点滅	点滅

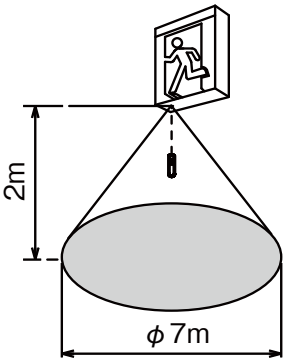
※ 24 時間以上連続充電している場合でも、自己点検を実施する前に手動点検を実施すると
自己点検に移行できません。(24 時間以上連続充電していないとみなすため)

本体受光範囲

リモコンの操作は、点検を開始する器具の受光部に向けて行ってください。
誤動作した場合は器具の真下より中断ボタンを押してください。



天井・壁直付形

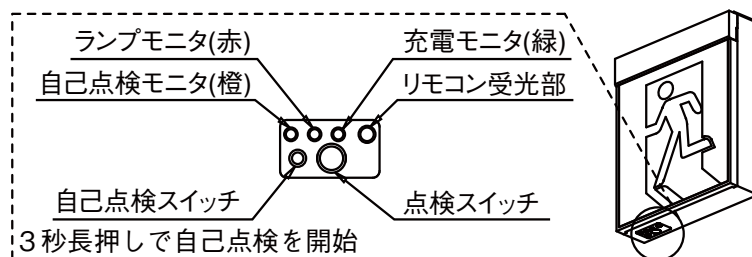


自己点検機能の使用方法

○自己点検機能を使用する前に以下の項目を確認してください。

- (1) 24 時間以上連続充電をしている（点検スイッチを押したり、停電等で電源が遮断されてしまった場合は自己点検に移行しません）
- (2) 充電モニタが点灯している（蓄電池が正常に接続・充電されている）
- (3) ランプモニタが消灯している（ランプが正常状態である）

上記項目を満足していない場合は、自己点検スイッチを操作しても自己点検機能に移行しません。



- ① 器具本体の自己点検スイッチを 3 秒以上押す
または
リモコンの自己点検ボタンを押す



- ② 自己点検開始



- ③ 定格時間 (20 分間または 60 分間) 後
自動で通常状態に復帰

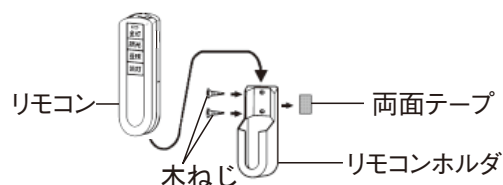
モニタ表示		点検モニタ (橙)		ランプモニタ (赤)		充電モニタ (緑)		
▶	点検中表示		点滅		消灯		消灯	
▶	正常時		消灯		消灯		点灯	
▶	蓄電池 異常時	寿命		消灯		消灯		点滅
		外れ、 破損		消灯		消灯		消灯
▶	ランプ 異常時	寿命		消灯		点滅		消灯
		外れ、 破損		消灯		点灯		消灯

- 蓄電池容量が不足している場合は定格時間 (20 分) 経過前に点検結果を表示し、通常状態に復帰します。
- ランプ異常については自己点検の操作に関わらず常時検出されます。
- 自己点検機能が動作中に、点検スイッチを押すことにより自己点検を解除することができます。

リモコンホルダの取付けかた

壁面などに取付けてリモコンを入れる。

- ① リモコンホルダの裏にある両面テープでリモコンボックスを壁面に貼りつけ、仮止めする。
- ② 木ねじを木ねじ穴に合わせてねじ込む。



リモコンホルダに入れたままリモコン操作を行うと、動作しない場合があるので、その場合はリモコンホルダからリモコンを取り出し、器具本体スイッチの方へ向けて操作してください。

電池の交換

適合電池
単3乾電池 1.5 V (R 6 P) × 2

<電池交換時>



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに
結びつく可能性があるもの



禁止

■電池をショート・分解・加熱・変形させない。
また、火中に入れない。
やけどや衣類損傷の原因



禁止

■充電式電池 (Ni-Cd や Ni-MH など) は使用
しない 液漏れ、破損、発熱によりけが、故障、
破裂の原因



禁止

■電池の (+)、(-) を逆に入れて使わない
液漏れ、破裂の原因



禁止

■違う種類の電池や、新・旧電池を混ぜて使用
しない
液漏れ、破裂の原因

乾電池は一般の不燃ごみとして処理してよいことになっていますが、自治体の条例などの定めがある場合には、その条例に従って廃棄してください。

この説明書は、
再生紙を使用
しています。



日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12 電話(03)3502-2111